

Microsoft 365 E7 Envisioning

有償サービス
適用可能な資金提供プログラムあり

AIエージェント時代のE7導入を、 明快さ・統制・確信をもって判断するためのアドバイザー

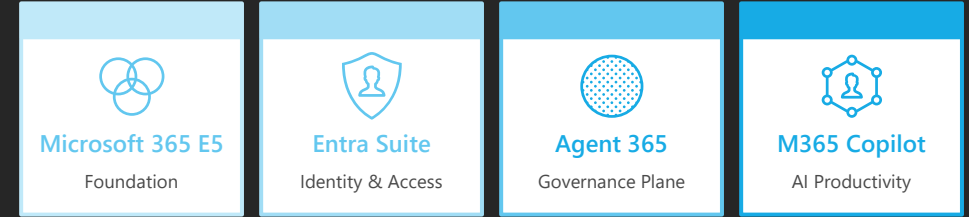
AIの活用が日常業務へと広がる中、生産性向上の好機と同時に、セキュリティ・アイデンティティ・ガバナンスの新たなリスクが顕在化しています。Microsoft 365 E7は、これらの課題に対応するためE5基盤に Entra Suite・Agent 365・M365 Copilot を統合した次世代スイートです。

本サービスでは6回のリモートワークショップ (Kick-Off／Current-State／Building Blocks／Value Scenarios／Readiness & Governance／Roadmap & Recommendations) を通じ、E7構成要素の理解、現状環境の棚卸し、2～5件の高インパクト・シナリオの特定、Identity／Security／Governance観点でのレディネス評価、推奨ライセンスパスとロードマップの提示まで、E7導入意思決定に必要な情報を一貫してご支援します。

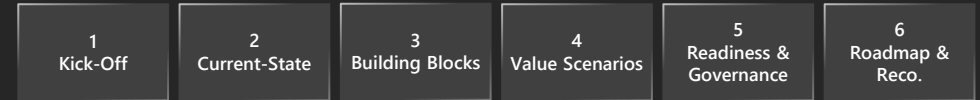
導入メリット

- 1 E7構成要素 (E5／Entra Suite／Agent 365／Copilot) の違いと自社への適合性を整理
- 2 2～5件の高インパクトなユースケースを業務文脈で特定し優先順位付け
- 3 Identity／Security／Governanceのレディネスを評価しリスクを事前可視化

サービスイメージ・E7構成要素



6回のリモートワークショップで意思決定を支援



→ 最終アウトプット: エグゼクティブ向けロードマップ／推奨ライセンスパス

活用事例

課題・ニーズ

AIエージェントの全社活用を検討するも、E7とE5+アドオンのどちらが妥当か、Identity／Security／Governance面で何が不足しているかが不明確で、ライセンス更新の意思決定が進まない。経営層への説明資料も整わない。

導入後の効果

- ✓ E7の構成要素・E5との違いを経営層が即座に理解可能に
- ✓ 業務インパクトの大きい2～5件のシナリオを優先順位付け
- ✓ Identity／Security／Governance観点でリスクを事前可視化
- ✓ 推奨ライセンスパス (Full E7／Targeted E7／E5+アドオン) を提示

SoftwareOneについて

Microsoft Copilot Specialization 認定パートナー / Microsoft Frontier company 選定 / グローバル Copilot 導入 2,000社超 / 1.8M+ アクティブユーザー / Microsoft Early Access Program 参画 (70カ国)

Microsoft 365 E7 Envisioning — サービス詳細

有償サービス
適用可能な資金提供プログラムあり

提供形態	ワークショップ数	顧客側 合計参加時間	推奨実施順
リモート (Microsoft Teams)	全6回 + 事前準備 (Phase 0)	最大 約12時間 (6セッション計)	Session 2-4は連続実施を推奨

#	セッション名	時間	目的 (Objective)	主な成果・アウトプット (Outcomes)	お客様 参加者	必要な管理権限 (Admin Roles)
1	Kick-Off Session	最大 1h	ワークショップの目的・アジェンダ・主要ステークホルダーを確認し、本エンゲージメントの目標とスコープに関する共通認識を全関係者間で形成する。	<ul style="list-style-type: none"> エンゲージメント目標/スコープの合意 参加者リスト確定 全後続セッションのスケジュール確定 	プロジェクトスポンサー、ITリーダーシップ、主要ビジネスステークホルダー	N/A
2	Current-State Snapshot (現状環境スナップショット)	最大 2h	お客様の現行Microsoft環境を確認し、業務・技術両面の主要インプットをDiscoveryとステークホルダー対話を通じて収集。後続セッションに反映するための「現状ビュー」を統合的に整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ライセンスベースラインのドキュメント化 主要なビジネスドライバー/課題の特定 Building BlocksとValue Scenarioに反映可能な現状分析の完成 	ITリーダーシップ、Microsoft 365 管理者、調達/財務担当	Microsoft 365 Administrator (環境レビューのためRead権限を推奨)
3	ME7 Building Blocks	最大 3h	ME7の4本柱について構造的・教育的な概要を提示し、情報に基づく意思決定を可能にする。各構成要素をお客様固有の環境および戦略的方向性と紐づける。	<ul style="list-style-type: none"> お客様チームが4本柱を文脈に沿って明確に理解 各構成要素のライセンス・導入ジャーニーとの関連性が確立 [4本柱: M365 E5基盤 / Entra Suite / Agent 365 / M365 Copilot] 	ITリーダーシップ、Microsoft 365 管理者、セキュリティ/アイデンティティチーム、ビジネスステークホルダー	N/A
4	Value Scenario Selection (価値シナリオ選定)	最大 2h	ME7機能群の中からお客様にとって最も関連性の高いユースケースを特定し優先順位付け、ME7が最も大きなビジネス価値を生む領域を定義する。コンサルタントがファシリテートする協働ワークショップ形式。	<ul style="list-style-type: none"> 2~5件の優先順位付けされた高インパクト・シナリオを根拠付きでドキュメント化 各シナリオの導入複雑性と主要依存関係の初期理解 	ビジネスリーダー、ITリーダーシップ、ラインオブビジネスのステークホルダー	N/A
5	Readiness & Governance Review (レディネス/ガバナンス評価)	最大 2h	ME7導入に必要なアイデンティティ/セキュリティ/ガバナンスの基盤が整っているかを評価する。ライセンスおよび導入意思決定に影響する主要リスク・前提・依存関係を捕捉する。	<ul style="list-style-type: none"> Identity/Security/Governance観点のレディネス評価完了 主要リスク・前提・依存関係を取りまとめたリスク登録簿 (ロードマップレポート用) 	Microsoft 365 管理者、セキュリティ管理者、アイデンティティ/コンプライアンス担当、ITリーダーシップ	Global Admin または M365 Admin (Read-only)、Security Admin、Identity Admin、Compliance Admin ※「Over the Shoulder」での画面共有が必要
6	Roadmap & Recommendations (ロードマップ/推奨提示)	最大 2h	全セッションの分析結果に基づき、推奨ライセンスパスとME7導入ロードマップを提示する。お客様のライセンス意思決定を支援する経営層向けサマリーと、具体的な次のステップを提供する。※本セッションはRead-out (発表) 形式。	<ul style="list-style-type: none"> 推奨ライセンスパスを提示・議論 (Full E7/Targeted E7/E5+アドオンの3択) ロードマップと推奨事項の提示 調査結果と次ステップに関する合意形成 	経営層 (CIO/CTO/CISO等)、プロジェクトスポンサー、ITリーダーシップ、ビジネスステークホルダー	N/A

Session 2で参照する主要レポート

Microsoft Secure Score/Purview Compliance Manager Score/Identity Secure Score/M365 Adoption Score/Copilot Adoption Metrics/ライセンス/エージェント数

最終アウトプット

経営層向け Recommendations & Roadmap Report (推奨ライセンスパス/優先シナリオ/レディネス所見/次ステップを含む)

対象顧客

M365 E5顧客、更新/True-up/拡張サイクル中、AIエージェント展開計画中の企業